



# 議会だより

第 130 号

平成23年11月15日発行

平成 22 年度各会計決算の概要 ……	2～ 3
平成 22 年度各会計決算総括質疑 ……	4～ 5
こんなことが決まりました ……	6～ 7
一 般 質 問 ……	8～ 11
町の歴史・文化財紹介 ……	12

(江戸時代の鶺羽神社の祭礼「十日祭」⑥)



農林商工まつり  
(総合運動公園)

# 一般会計決算

# 9月定例会

## 歳入総額 33億7,874万円

(前年比 6.5%増)

## 歳出総額 30億7,741万3千円

(前年比 3.3%増)

# 防災行政無線制御卓更新・瞬時警報システム導入 土睦小給食棟改築工事完成

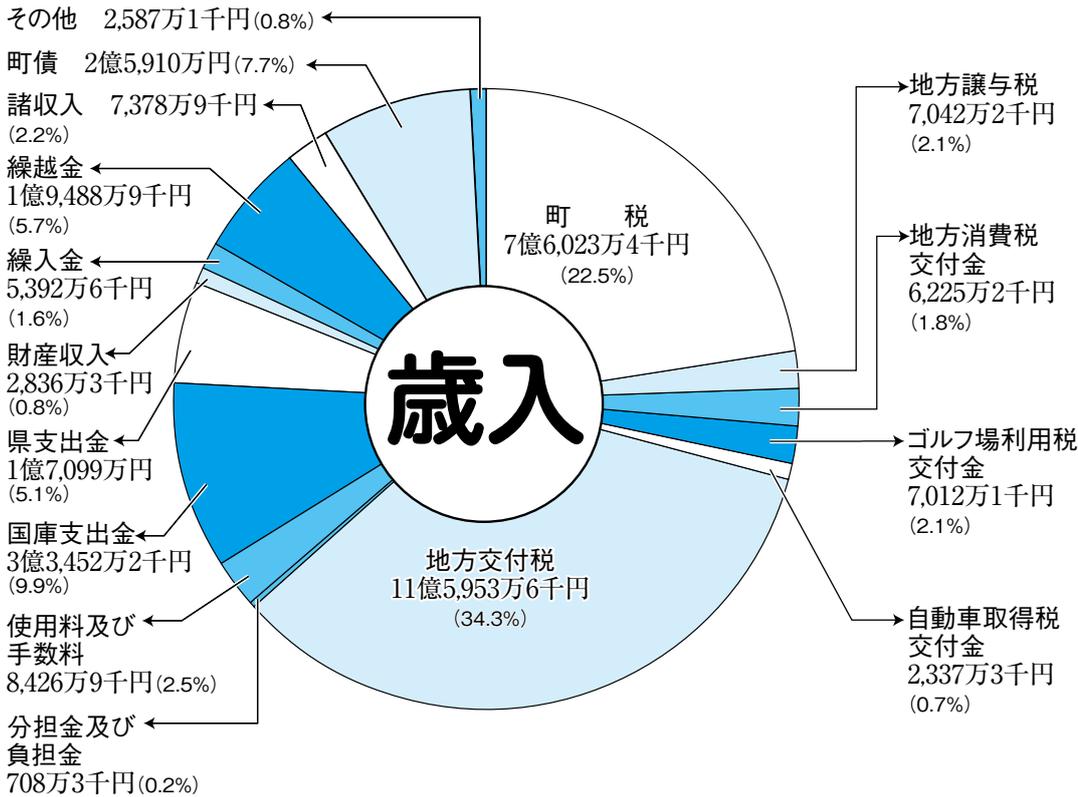
平成23年度第3回議会定例会は、9月15日16日の2日間を会期として開催されました。提出された6議案、諮問1件は質疑後、原案どおり可決しました。

平成22年度一般会計外6特別会計決算は、総括質疑を行い、決算審査特別委員会を設置し、審査を付託しました。一般質問は、5議員が行ない、町政の課題を問いました。

### 決算の概要

財政面では、財政調整積立基金の増額や町の債務の減額など財務指標は改善傾向にあります。自主財源である税収入は、厳しい状況が続いており、さらに行財政改革の断行に取り組む必要があります。

主な事業は、道路改良工事(河須ヶ谷地先)土睦小学校給食棟改築工事、土睦中学校校舎屋根防水改修工事、防災行政無線の制御卓更新と瞬時警報システム導入、妊婦健診、乳幼児・児童医療費及び子宮頸がん・肺炎球菌・ヒブワクチン接種費の助成などです。



審査をする特別委員会

## 決算審査特別委員会を設置

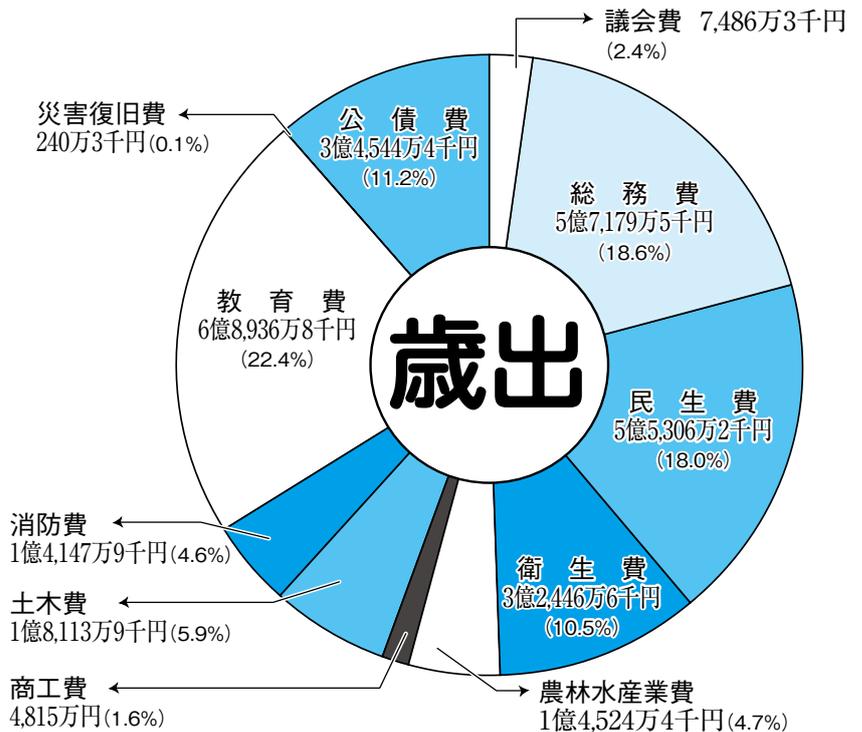
平成22年度各会計決算を審査するため特別委員会を設置、委員に副議長と各常任委員会から2名を選出し、次の7名が選出されました。

### 委員会構成

- 委員長 岡澤 宏一
- 副委員長 高橋 清
- 委員 幸治 正雄
- 市原 時夫
- 市原 重光
- 江澤 利文
- 今関 澄男

# 財政運営の状況

区分	20年度	21年度	22年度
<b>財政力指数</b> 地方公共団体の財政力を示す指数 1を超えると普通地方交付税が交付されない。	0.503	0.484	0.458
<b>経常収支比率</b> 財政構造の弾力性を判断するための指数 経常的支出に対し経常的収入財源が充てられている割合を示したもの	90.4	89.5	85.7
<b>公債費比率</b> 公債費に充てられる一般財源の額の標準財政規模に占める割合 10%を超えないことが望ましいとされる。	10.7	9.9	11.9
<b>経常一般財源比率</b> 標準的な収入(標準財政規模)に占める経常的に収入される一般財源で割合が高いほど余裕がある。	93.5	93.5	91.2



(報告第1号)  
**平成22年度陸沢町健全化判断比率**  
 地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、4つの指標からなる健全化判断比率が監査委員の審査に付され、その意見をつけて議会に報告、公表されました。  
 平成22年度は昨年度と同様に政令で定める基準を下回っています。  
 本町の各比率は、別表のとおりです。

特別会計決算	
<b>国民健康保険特別会計</b>	
歳入総額	9億9,628万2千円
歳出総額	9億3,736万4千円
<b>老人保健特別会計</b>	
歳入総額	14万7千円
歳出総額	14万7千円
<b>農業集落排水事業特別会計</b>	
歳入総額	6,476万8千円
歳出総額	6,015万4千円
<b>介護保険特別会計</b>	
歳入総額	6億2,373万6千円
歳出総額	6億1,411万7千円
<b>かずさ有機センター</b>	
歳入総額	3,482万6千円
歳出総額	3,062万2千円
<b>後期高齢者医療特別会計</b>	
歳入総額	7,326万5千円
歳出総額	7,215万9千円

健全化判断比率	平成22年度	早期健全化基準	財政再生化基準
ア 実質赤字比率	—	15.0	20.0
イ 連結実質赤字比率	—	20.0	35.0
ウ 実質公債費比率	10.6	25.0	35.0
エ 将来負担比率	102.6	350.0	

(報告第2号)  
**平成22年度陸沢町農業集落排水事業特別会計資金不足比率**  
 地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づく報告です。  
 算定の結果、資金不足は生じていません。  
 ※詳しくは、町のホームページなどをご覧ください。  
 ※表中の実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、赤字額がないため、「—」と記載しています。

# 一般会計

## 総務

### 疑

**東條勝昭議員** 第4日曜日、税の滞納解消のため開庁しているが、その費用対効果は。

### 質

**税務住民課長** 年間の来庁者は税で20名、戸籍、印鑑証明で120名です。303万円が徴収でき、普段来庁されない方も来られて効果はあったと考えます。

### 括

職員報酬は振り替えとして給料の変動はありません。  
**市原時夫議員** 第4日曜日の開庁は、税の回収の為になく住民サービスの一環としたほうが良いのでは。  
**税務住民課長** 平日来庁できない町民の利便性が主体です。

### 総

**今関澄男議員** 防災関係で全国瞬時警報システムとは、また、孤立化した場合の連絡方法で衛星防災無線の配置は。  
**総務課長** Jアラートです。町内防災用電話、携帯電話は機能しませんでした。無



更新された防災行政無線制御卓

## 財政

**幸治正雄議員** 個人住民税の落ち込みが激しいが、高齢化という要因はないか。  
**税務住民課長** 平成20年以後、企業のリストラが影響しています。

**議員** ふるさと納税などの寄付金制度を有効活用すれば本町のPRにもつながるのではないか。  
**企画財政担当主幹** 昨年は100万円を本町出身の方から

線機及び防災無線を使っているが、その費用対効果は。衛  
**星電話**等も考慮します。  
**市原時夫議員** 空き家バンクの対応は。

**企画財政担当主幹** 空き家バンクは45件の希望者がありますが2件の契約です。

また、団塊世代の定年退職が含まれます。  
**今関澄男議員** 法人税が厳しい経済情勢の中伸びている。また、個人の滞納額が過去最高になっている。この内容は。  
**税務住民課長** 自動車部品メーカーの業績が大幅に伸びたためです。もう一点は不況による影響が大きく減免からの滞納が増えています。

寄付されましたが、更にPRに努めていきます。  
**久保田洋之議員** ふるさと納税をいただいたらプレゼントを贈る考えは。

地方交付税で107%増となったこと。また、収支経常比率が改善した要因は。  
**町長** プレゼントはしていませんが感謝しています。

**企画財政担当主幹** 交付税増は、町税が減になったことと臨時財政対策債の償還が始まったことです。比率の改善は、児童医療や子宮頸がんワクチンなどの支出が増えています。交付税などの歳入がより増額したことに由来するものです。

**市原時夫議員** 町の決算書と監査報告書の数字が違うが。

**企画財政担当主幹** 一般会計とかずさ有機センターの特別会計が分かれていますためです。

## 福祉

**市原時夫議員** 子育て支援のすぐれた面、緊急雇用・地域人材育成事業などの効果をPRすべきでは。



きれいな小川(鎮守川)

## 環境

**地域振興課長** 24人を臨時雇用し、4施設で9人雇用をお願いしました。2名が採用になり、5名がヘルパー2級を取得しました。さらにPRに努めます。  
**国保健康担当主幹** 生まれた場合必ず保健師が回って相談にのっています。  
**市原重光議員** 河川等水質調査を町内数か所で実施しているが、数値の悪い所に対する対策の方向性を示してもらいたい。

**町長** 一宮川については、各自自治体が水質検査の結果を持ち寄り、対策を協議しています。

**副町長** 夫婦堰については、牛舎を整備し糞尿は有機セクターに搬入しています。今後さらに対策を講じていきます。

**今関澄男議員** 有害鳥獣対策で、防御柵や箱わな、銃の捕獲など対策を講じていますが、難しい状況です。抜本的対策は。

**生活環境担当主幹** 当面箱わな・銃で捕獲します。**東條勝昭議員** 今後、くくりわなの導入を検討してはどうか。

**生活環境担当主幹** 対策協議会で検討し、資格を持っている方に貸し出して効果を上げたいと考えています。

## 教育

**市原時夫議員** 図書館利用の状況と司書を配置し、子育て支援の特色ある図書館にすべきでは。

**教育長** 現在2万2千冊、2千736人の登録があります。今後リクエスト制度を使っ

て魅力ある図書室にしたいと考えます。司書は検討します。

## 国保特別会計

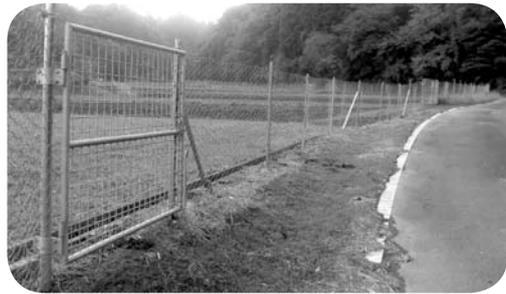
**市原時夫議員** 大幅な赤字が出た。住民に引き下げという形で返すべきではないか。

**町長** 常に備えあれば憂い無しという基本の中で対応し、年々の上昇率を参考に予算を組んでいます。

## 農集排特別会計

**市原時夫議員** 特定地域生活排水事業が進まない理由として、放流先の事情があるが対策は。

**生活環境担当主幹** 合併浄



設置したイノシシ防護柵 (佐貫地先)

化槽から流れる流末が民間が設置した道路のU字溝の場合、個人名義となり、特別な行政指導が難しくなることから、個人の設置に対する補助金で推進しています。

## 介護保険特別会計

**市原時夫議員** 施設利用サービス等の苦情に対し、介護保険をより充実するという総括をすべきでは。

**健康福祉課長** 町の介護保険関係のサービス事業者の協議会に要望していきます。

**定数問題等調査特別委員会調査の報告**

計5回にわたる特別委員会が開催され、過去の経緯、財政状況、議会費の推移並びに社会情勢、経済状況等を勘案し、議会の在り方、議会の活性化及び住民の信託に応える役割と責任など幅広い視点で積極的な議論を重ねました。

主な意見として、地方自治における二元代表制のもと、執行部と議会の均衡を保持すべきであり、削減を

**今関澄男議員** 施設介護サービス費が前年に比べ大きく伸長しているが、本町に施設の増設等の考えはあるのか。

**町長** 大きな社会問題と位置づけし、今後充分留意し対応します。

## かずさ有機セクター特別会計

**市原時夫議員** もみ殻堆肥で進めているが、別の堆肥の製造を検討しているか。

**町長** もみ殻が身近にあり集めやすく、腐食した場合ケイ素が豊富で希少価値で



集積したもみ殻

あるため、もみ殻で実施しています。

## 後期高齢者医療特別会計

**市原時夫議員** 保険料の普通徴収で毎年の人数の変動が大きい。

**保健福祉課長** 死亡、転出等の変動があります。

集約されました。

- 第1案 定数を18人とし、報酬を削減する。
  - 第2案 定数は、現状維持とし、報酬を削減する。
  - 第3案 定数、報酬共に現状維持とする。
  - 第4案 定数を12人とし、報酬は維持する。
- 採決の結果、第3案の定数、報酬共に現状維持とする事が、賛成多数となり委員会としての結論に達しました。

# こんなことが決まりました

**〔議案第1号〕**  
**特別職の職員で非常勤のもの**の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

「体育指導委員」を「スポーツ推進委員」に改めるものです。

**〔議案第2号〕**

**陸沢町税条例の一部改正**

地方税法等の一部改正に伴う条例改正です。

一、個人住民税の寄附金税額控除の適用下限額5千円を2千円に引き下げるものです。

寄付をした額より2千円を差し引き、その残額に対し、町民税6%、県民税4%を翌年度の個人住民税から税額控除するものです。

また、東日本大震災の被災地への義援金については、ふるさと寄付金として、領収書のあるものを対象とし、寄付金税額控除となります。

さらに、特別控除として寄附金のうち、2千円を超える部分について、個人住民税の所得割額の10%を限度として、基本控除額に加えて個人住民税から税額控

除されます。

平成23年1月1日以降の寄附金から適用です。

二、上場株式等配当・譲渡所得等にかかる軽減税率の2年延長で、現行の個人住民税の軽減税率3%、町民税1.8%、県民税1.2%が対象です。平成25年12月31日まで延長します。

三、肉用牛の売却による農業所得の課税免除対象頭数を上限2千頭を1千5百頭に引き下げ、その適用期限を3年延長し平成27年度までとします。

四、高齢者向け優良賃貸住

宅にかかる固定資産税の減額措置の見直しで、サービス付き高齢者向け住宅制度を創設し、一定の基準を設け、軽減措置をはかるものです。

新築期限は、平成25年3月31日まで延長です。

五、町民税及びたばこ税等にかかる不申告に関する過料を3万円から10万円に引き上げる罰則規定の見直しです。

**質疑**

市原時夫議員 上場株式の譲渡所得にかかわる軽減税

率は、富裕層に対するものだが本町での対象者はいるのか。

また、町民税・たばこ税の不申告に対する罰則規定の例はあるのか。

税務住民課長 上場株式等の配当関係では、20人前後の方が対象です。罰則規定の該当者はいません。

**〔議案第3号〕**

**公の施設の指定管理者の指定**

文部科学省委託事業により設立された、総合型地域スポーツクラブ「陸沢ふれあいスポーツクラブ」を、公の施設、陸沢町総合運動公園の指定管理者として指定されましたが、任期満了にともない再度指定するものです。

管理を行わせる施設の名称 陸沢町総合運動公園 指定管理者 陸沢ふれあい

スポーツクラブ 会長 池田良夫 指定期間

平成23年10月1日から平成28年9月30日まで



総合運動公園

**監査結果の総括**

8月8日から10日までの3日間、決算監査を行いました。

監査に付された平成22年度陸沢町一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査は、関係法令に準拠して作成されており、誤りのないものと認められました。また、基金の運用状況を示す書類の計数も関係帳簿及び証書類と照合した結果、適正と認められました。

代表監査委員 石井 穰 監査委員 中村 勇

# こんなことが決まりました

(議案第4号)

## 平成23年度睦沢町一般会計補正予算(第3号)

補正額は、7千580万8千円を追加し、補正後の予算額は32億3千767万2千円となりました。

歳入は、補助金及び委託金、県支出金の追加、繰入金は、国保精算に伴う追加の追加、繰越金は、財政調整のための追加、諸収入は、サマージャンボ宝くじ交付金等です。

歳出は、全般を通し人件費の加減です。総務費は防災対策として、町内広域避難所7箇所アンテナ設置防災行政無線移動系システムの追加です。

民生費では、災害時要援護者避難支援計画策定委員会委員報酬、マップ作成業務などです。

衛生費は、こども医療費の助成を中学3年まで拡大、システム改修等の関連費用の追加です。

農林水産業費では、農地・水・環境保全向上対策事業負担金、米の放射能検査通知費の追加です。



改修される冷暖房装置 (ゆうあい館)

商工費は、道の駅観光案内板設置費計上です。土木費では、下之郷、野中線の補助対象外の舗装工事費等の追加です。教育費は、瑞沢小学校の浄化槽、給水ポンプ修理、ゆうあい館冷暖房改修工事等の計上です。

### 質疑

市原時夫議員 子供医療費の立て替え払いは、他の方法は無いのか。

また、土水路の補修予算が有るが補修先は。

国保健康担当主幹 償還払の方式で行う予定です。

地域振興課長 農地・水事業の中の協働活動支援が新設され、寺崎地区より要望が上がっており検討します。

議員 観光案内板設置は広域的な発想が必要では。

課長 町の名称、旧跡、公共施設等を入れたもので道の駅での実施予定です。

今関澄男議員 道の駅広報委託料の具体的な内容は。

地域振興課長 毎週木曜日、日本放送を利用し宣伝PRを行ってまいります。

幸治正雄議員 公民館費の改修費が多額だが。

生涯学習担当主幹 ゆうあい館の冷暖房設備の改修です。

久保田洋之議員 公民館バスの地デジテレビは。

主幹 チューナー設置で検討しています。

(議案第5号)

## 平成23年度睦沢町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

4千426万2千円を追加し補正後の予算額は、9億9千483万6千円となりました。

歳入は、職員給与費等繰入金及び繰越金の追加です。

歳出は、保険給付費及び基金積立金等の追加です。

### 質疑

市原時夫議員 繰出金の根拠は。

国保健康担当主幹 職員の給与分と出産育児一時金の清算です。



待機する検診車

(議案第6号)

## 平成23年度睦沢町介護保険特別会計補正予算(第1号)

154万円を追加し、補正後の予算額は、6億3千216万9千円となりました。

歳入は、人件費及び繰越金の追加です。

歳出は、社会保険診療報酬支払基金への前年度清算による返還金の追加です。

### 質疑

市原時夫議員 予算のつけ方の関係で諸支出金返還金等は補正前に必要はなく科目設定でよいのでは。

健康福祉課長 補正前の額は、処遇改善の部分で国に返還する分です。

今回は支払い基金の関係で過年度分清算の計上です。

(諮問第1号)

## 人権擁護委員の推薦について

平成24年3月31日に任期満了を迎えるため、後任の推薦について次の方を適任とし、答申しました。

住所 睦沢町大上

3462番地2

氏名 相川 一夫 氏

昭和23年4月22日生



診察する飯塚先生

東條 勝昭 議員

# 町政の課題を問う

## コンビニ納付で 税の収納率向上を

### 町長 第4日曜日の開庁を実施

町税などの納税を従来の金融機関に加えて全国のコンビニエンスストアでもできるようにし、町民の利便性と収納率向上を進めるべきでは。

町長 コンビニ納付は住民サービス、収納率向上実例等の観点から納付者の利便性を高める良い方法と考えますが、本町では、昨年から第4日曜日の開庁を実施しており、現時点では考えていません。

### 町犯罪被害者 支援条例を

できる範囲で被害者の支援を行ないます

議員 犯罪に巻き込まれた被害者を支えるため、町の責務などを定めた「町犯罪被害者支援条例」を制定し、誰もがあり得る被害者を町全体で温かく支えることが必要では。

町長 消費・生活相談など県や警察と連携を図り対応し、町としてできる範囲で被害者を支援し、条例制定は、状況により検討します。

## 遅れている

## 町道の舗装を

### 町長 順次実施します

高橋 清 議員

### 小中学校に 熱中症計を

議員 熱中症事故を防止するため、熱中症計を導入すべきでは。

教育長 小・中学校では、学級指導の中で、対策を行なっています。熱中症計の配備は、調査検討していきます。



第4日曜日の開庁窓口

昭和54年3月竣工の土地改良事業区内にある町道636号線(下之郷地先)は未舗装のため、瑞沢川河川管理道路を通行利用しているのが実態で、32年間未舗装となっているため、安全・安心な舗装道路づくりができませんか。

町長 区からの要望・優先順位等を尊重し、今後も不平等にならないよう順次実施します。  
議員 町内認定道路の現在の舗装率は、  
地域振興課長 現在、町道の舗装率は、1・2級町道は100%、3級町道では50.6%、延長合計で57.3%です。



未舗装道路(下之郷地先)

### 行き止まり道路 整備については

### 対応します

議員 以前、生活及び農林業等の幹線主要道である町道638号線(下之郷地先)は、人家道でありながら未舗装で行き止まりとなった道路です。災害等を想定した時、支障のない対策を。

町長 要望内容等を検討し、しかるべく対応します。  
議員 32年間でできなかつた不便をいつ解消できるのか。

町長 改良を進めます。

## 一般質問

## 市原 時夫 議員

## 災害に強いまちづくりを

## 町長 防災計画の見直しを行います



給食棟に設置した太陽光パネル

安全なまちづくりのため、公的責任による防災計画の見直しが必要では。また、津波予測と地域ごとの避難場所の見直しが必要では。

**町長** 河川等の整備、治山事業とともに、住民参加型の防災訓練、自主防災組織の区ごとの組織、防災計画の見直しを行います。

**議員** 町でも、土壌セシウムなどが検出されている。子どもの集まる場所には、積算放射線量計を設置すべきでは。

**町長** 現在の測定を学童クラブのグラウンドでも行います。

## 原発ゼロ・自然・再生エネルギー活用への

### 国の動向・施策を見て

**議員** 町の課題として自然エネルギーの導入を、行政・議会・住民・地元業者・専門家も呼んで提言を作成するなど研究・検討すべきではないか。

**町長** 役場庁舎の節電など引き続きすすめるとともに、国の施策を見守り、自然エネルギーの導入を検討します。

**議員** 神崎町への職員派遣は、きちっと評価すべきでは。

**町長** 液状化により被害のあった、神崎町へ職員を派遣し大変喜ばれました。職員にはご苦労をかけた。

### 活発なまちづくり委員会を

#### 総務課4名で対応

**議員** まちづくり委員会に公募された方の状況を見ると、町民の意欲を感じ、自由な発想を保障すべきだ。町主導ではなく、住民参加の枠を広げ特別な体制を生かすべきでは。

**企画財政担当主幹** 公募で15名が参加しています。町としては、総務課職員4名が対応しています。期限は今年8月から2年間で



審議中のまちづくり委員会

### 今こそ、子育てなど 特徴生かした町へ 持続可能な範囲で

**議員** 子どもを大切にするという、町の伝統、町への高い愛着度、住民参加の積極的な姿勢をもつ住民の力を生かし、子育て支援の充実を大きく打ち出すべきではないか。

**町長** これまでの施策を持続可能な範囲で、充実を図ります。

# 教育と福祉で町おこしを

## 町長 魅力ある学校、支え合う まちづくりを推進

日本の将来展望が見いだせない現状の中で、自立した活力ある町を未来永劫まで続けていくため、教育と福祉の2点を主とした町おこしを重点的に考えるべきでは。

**町長** こども園や小中学校との連携を進め、魅力ある学校づくりに努めています。また、地域で支え合う健康福祉の町づくりを推進しています。

### 放射線測定を

### ホームページで随時公表

**議員** 当町の測定は月1回だが、他町村は測定日数が多い。目に見えない放射線の測

定について安心、安全の観点から回数、場所を増やすべきでは。

**議員** 南房総市では幼稚園・小・中学校が完全米飯給食の実施や小学校高学年、中学生を対象とした夏塾を立ち上げ、学力差の解消に取り組んでいます。

長野県栄村では、見守り助け合う下駄履きヘルパー制度を実施しています。いろいろな方策があると思うが。

**町長** 町の活性化、生涯教育が基本だと思います。



放射線測定器

### 町村議会議員・議会事務局 職員合同研修会を開催

この研修会は、8月19日に長生郡町村議会議長会主催により、プラザヘイアン茂原で開催されました。

平成16年10月中越地震で壊滅的被害を受けた当時の新潟県山古志村長、現衆議院議員である長島忠美氏を講師に招き「東日本大震災からの復旧・復興について」と題し、災害に立ち向かい、地域を守るといふ気概を持ち、誇りを持つて取組まれた体験談を講演していただき、防災に対する研鑽を積むことができました。



合同研修会

**町長** 5月から月1回の割合で、こども園、小中学校、総合運動公園の5か所を測定しています。

土壌、農業用水、集落排水汚泥、有機堆肥センターの堆肥等ですが不検出や基準を下回る結果でした。

これからも定期的に測定し町のホームページで随時公表します。

**議員** ホームページはもう一つの町の顔と思う。町民には情報提供、町外の人には町のPRとしての役割を果たすが、内容に変化がなく古いので、リニューアルすべきでは。

**町長** 昨年一部改善をしました。リニューアルに向けて準備をしています

## 一般質問

## 今関 澄男 議員

農業の活性化に向けた  
主要施策の推進を

## 町長 町全体で対応という観点で

農業者の高齢化や担い手不足、米価の低迷等憂慮に耐えない中で、農地の利用集積や営農組織の確立、さらに若者対策、立地を生かしたグリーンツーリズム事業など活力ある農業への転換を図る主要施策が必要だが今後の対応は。

また、営農組織等への財政支援を目的とする積立基金を創設すべきでは。

町長 農地の利用集積は299haの設定状況だが高齢化等で今後一層進むものと思われす。

農地所有者代理事業を行

## 公会計制度の内容をいち早く町民に

## 財務4表を導入

議員 平成22年度決算より導入する新地方公会計制度の内容をいち早く公表し、町民に分かりやすい説明が必要では。

特に、新制度導入に際し、民間企業会計に準じた貸借対照表等財務諸表を作成すべきでは。

町長 自治体の財務状況を総合的かつ長期的に把握す

なうJ Aや農業委員会と連携し積極的に進めます。

営農組織の確立等は地域での協議を踏まえ、共同利用の農業機械導入は国・県の支援で対応します。

また、圏央道の供用開始に伴う波及効果を最大限利用した農業振興に取り組みます。

農業支援基金の創設は、今後の検討課題といたします。先人達が行なってきた実績を参考に町全体としての対応を皆さんと一緒に作っていきます。

るため、貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書の4表を整備する方針が出され、作成に取りかかっています。

企画財政担当主幹 総務省方式の改定モデルにより、なるべく早い時期に公表してまいります。

## 地域に即した防災訓練を

## 自主防災組織を検討

議員 町地域防災計画等災害時のマニュアルを徹底させるため、自分達の町は自分達で守るといふ地域に即した防災訓練を実施し、災害に強い町づくりを行うべきでは。

また、非常時に備え、本町独自の災害目的積立基金が必要では。

町長 町防災計画は、東日本大震災が及ぼした被害を想定した計画に見直し、住民に広く周知をはかり、地域に密着した自主防災組織の立ち上げも検討します。

また、災害発生による緊急時の費用については、当面新たな基金の創設は行わず、財政調整基金からの繰入れを検討します。



見直し予定の計画書



収穫前のほ場 (佐買地先)

町の歴史・文化財紹介

江戸時代の鵜羽神社の祭礼「十日祭」とおかまち

⑥

玉前神社に残されている江戸時代の古文書「八月十日御祭礼恒例之次第」という記録から、当時の鵜羽神社の祭礼の様子を読み解いています。当時、釣ヶ崎まで神輿が渡御しておこなっていた儀式の続きです。

儀式終盤、神主は例の榊(現在でも海水で清めている)の枝を持ち、称宜の唱える祓い清めのお祓いを行いました。生魚は鵜羽神社に納め、お供えの餅などは一宮の神主と鎌田命婦(二宮からのお迎え役)が一膳ずつ頂戴しました。



(写真2) お供え餅

鵜羽神社の神主はお神酒を手にして鎌田命婦と社僧(神社に奉仕する僧侶)に渡し、鵜羽神社の神役を務める河野外記や新右衛門、岩井の村役人へ銘々に差ししました。社僧は昔から、鎌田命婦は途中の時代から、その役を行っていました。河野外記は別の盃を手にして神馬引きに4連4節の鯉節とカジメなどの海産物の供え物を与えましたが、天正年中(1573年〜1592年)以来は生魚を供えた習慣と同様にこの品々も形ばかりのものとなりました。河野外記が盃をいただき、その盃を鵜羽神社の神主に納めると釣ヶ崎での儀式は終了し、神輿は鵜羽神社に還御しました(写真1)。祭礼の中で守り奉ってきた細長いお供え餅の大小2枚は、鵜羽神社境内の御神井に納めました(写真2)。安永2年の祭礼では、



(写真1) 還御する神輿

祭りの後の酒盛りでは長い柄の銚子とかわらけ(素焼きの土器)の盃も出て、一度に2つの酒盛りをしました。神童子の酒盛りは別にされましたが、一宮の神主と社家はこうした前後のことは気にせずに帰られたとのことでした。  
この記録は、安永2年(1773年)旧暦8月10日に鵜羽神社神主の河野伊豆守通令が記録した祭礼報告で、非常に貴重なもので、細長いお供え餅は神様の化身の白蛇とされています。

鵜羽神社の井戸の底は釣ヶ崎とつながり、白蛇がここから釣ヶ崎に帰ると信じられています。鵜羽神社の「十日祭」は江戸時代から形をあまり変えずに伝承されている貴重な民俗行事で、町の無形民俗文化財に指定されています。

議事を傍聴しませんか

第4回(12月)定例会は  
12月9日(金)から  
開催の予定です。

詳しくは、  
議会事務局 44-2510へ  
お問い合わせください。

睦沢町立歴史民俗資料館  
学芸員 久野 一郎

編集後記

今年はいざなぎ年です。黒山の干支であり60年に一度のめでたい特別な節目の行事をしていました。

私も還暦です。ところが  
大震災、津波、豪雨、猛暑、おまけに円高、原子力の崩壊、今まさに地球規模で日本は試されているように感じます。

今こそ日本のお家芸である、たたかかれても立ち上がる日本人魂と強調性を發揮するときです。国には、復旧、復興と発展に本気で尽力願いたい。

議会だよりに携わり6年になります。その間編集委員も変わり、悩みながらも内容も変えてきました、自分の勉強にはなりましたが、読者のためになりましたかどうか。

今年選挙の年であり、本町にとっても節目の年です。新しい議会に期待をし、ペンをおきます。

E・T